

巻頭言

コロナ禍が問いかけるイノベーション

多久市長 横尾 俊彦 … 1

九経連活動報告

第2期九州創生アクションプラン「JEWELS+」の重点取り組みを確認

～「九州創生全力宣言」採択、「ツール・ド・九州」2023年開催を正式決定～

第39回九州地域戦略会議 … 2

九州にIRを！～九州IR推進協議会発足～ … 4

〈お知らせ〉倉富新会長体制がスタート … 5

日誌(5月) … 6

講演要旨

中小企業向け情報セキュリティ対策

(独)情報処理推進機構(IPA)セキュリティセンター 企画部 中小企業支援グループ 専門委員 平原 隆

(株)ストラテジア 代表取締役 セキュリティプレゼンター 前田 憲太郎 … 7

トピックス

九経連創立60周年記念事業

「九州将来ビジョン2030」を発表、実現に向けて始動!! … 8

アジア・ビジネス創出プラットフォーム(ABCプラットフォーム)の取り組み … 10

Mari Yoder の Impressions of Foreigners Working in Kyushu

Interview with Ritsumeikan Asia Pacific University (APU) … 12

会員紹介

株式会社福岡ソノリク … 14

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～ 体験王国むら咲きむら … 15

九州観光推進機構ニュース

旅行者に人気のモデルコースをご紹介します！

① 気分爽快ドライブ！大自然+温泉コース … 16

九州・山口地域動向

… 18

表紙説明・スケジュール(7月)・新入会員企業(5月)

… 21

コロナ禍が問いかける イノベーション



多久市長

横尾 俊彦

新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大でさまざまな影響が出ています。感染された方々の一刻も早い快癒と、逝去された方々の御霊の安寧をお祈りします。そして医療従事者の方々の貢献や、エッセンシャルワーカーの皆さんの尽力に敬意と感謝を捧げます。

◆コロナが加速したGIGAスクール

さて、感染対策として学校休校措置がなされた際にオンライン授業分野で日本の遅れが明らかになり、国会でも改善を急ぐべきとの声が広がりました。会長を務める全国ICT教育首長協議会でもこの数年間に要望してきた1人1台PC整備等の環境整備とICT教育が一気に加速しました。おかげで今年は「GIGAスクール元年」といえる展開です。

この加速劇、実はコロナ禍がなければなかったかもしれません。前例のない危機が大胆なイノベーションを迫ったともいえるわけです。教育現場は対応で繁忙と拝察しますが、ここは皆で力を合わせて課題を克服し、より良い教育実現を目指すことが肝要です。新たな可能性を子どもたちにもたらすためにも。

◆国連の電子政府ランキング

さらに今回の危機はもっと改革を促すものではないかという視点で凝視すると、我が国の行政をデジタル時代にふさわしく変革すべきことに行きあたります。デジタル庁の発端となるテーマです。国連の電子政府ランキン

グ2020のトップ3はデンマーク、韓国、エストニアで、日本は14位です。デジタル改革と役所の仕事変革を確認してみましょう。

◆身近な行政サービスをデジタルに

例えば確定申告はどうか。韓国の知人がスマホを操作して概要を紹介してくれました。まず税務当局からメールが届き、年収や納税情報を確認します。追加納税や還付の場合はその情報も添付されます。受信内容を確認し、了解なら、同意のクリックで確定申告は完了。数分で終わるといえるものです。

役所の手続きも進化の余地あります。市民は窓口の席に座り、番号カードを示し、モニター画面に向かい合い、必要文書を相談する。対面に座る担当者の操作で必要文書がモニター表示され、必要な文書を確認し、交付を希望すれば、印刷され手渡される。簡単です。

引っ越しはどうか。日本の大学院留学中の若者に聴くと「日本では10数回も自分の名前を書き、身分を証明し、必要事項を何度も書いて住民票・電気・水道・郵便転送などの引っ越し手続きをしますが、母国では1・2回の手続きで関連手続き全てが完了」。「先進国の日本なのにと驚いた」と語っていました。

さらに土地の確認事務では、農地、建設用地、課税対象の土地などの現状確認も、現地の調査確認も必要ですが、衛星画像やドローン画像とAI測量が十分に可能で、実装され、デジタル化されているようです。

◆九州からも世界レベル挑戦を期待

これらはほんの一例であり、既にある変革の技術が駆使されています。さらに九州のような広域行政区域でデジタル行政推進専門機関を設け、優秀な人材を確保し、サイバー攻撃監視、自治体行政管理ソフトの開発・運営など戦略的取り組みにも余念がない。なるほど電子政府トップランナーだと感じます。

我が国もこのような変革を為すべき時です。ビジョンを描き、総力を挙げて実現を目指すのです。地の利も活かし、九州らしい未来創造が叶うことを期待し、努めたいものです。

第2期九州創生アクションプラン「JEWELS+」の重点取り組みを確認 ～「九州創生全力宣言」採択、「ツール・ド・九州」2023年開催を正式決定～

と き 5月19日(水)

ところ Web開催(九経連、大分県庁)

出席者 16名

第39回九州地域戦略会議

(九州地方知事会、九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会)

官民が一体となって、九州・山口地域の発展戦略を協議し、具体的な施策を推進する第39回九州地域戦略会議(共同議長:九州地方知事会・広瀬勝貞会長、九経連・麻生泰会長)が、Webにて開催され、「コロナに打ち克つ!九州創生全力宣言」を採択し、「ツール・ド・九州」の2023年第1回大会の開催を正式決定した。



【審議事項】

1. コロナ禍を踏まえた九州創生への取り組み

昨年3月の九州地域戦略会議で決定した「第2期九州創生アクションプラン【JEWELS+】」の2021年度重点取り組みについて、各PTリーダーの知事より、以下のプロジェクト内容の説明を行った。

- PT① 外国人観光客来訪促進
- PT② 新分野参入による活発なビジネス展開
- PT③ 九州・山口で働く魅力発見・若者定着促進
- PT④ 夫(パートナー)の家事・育児推進
- PT⑤ 九州・山口が一体となった移住促進
- PT⑥ 電力・通信等のインフラ復旧連携

経済界からは「第5回中国国際輸入博覧会(2022年11月、上海)への九州の共同出展」「離島観光振興の強化」「災害時の広域応援・受援の観点からの連携訓練」について意見が出され、各プロジェクトの取り組みを進めていく中で、実行策を検討していくこととした。

また、感染拡大防止策の徹底と、分散やデジタル化などの流れ、「アジアに近いなど九州・山口の強みを生かした取り組みをどう進めていくか」という本会議の議論を踏まえ、その決意を「コロナに打ち克つ!九州創生全力宣言」として取りまとめ、承認された(「宣

言」は後記)。

2. ツール・ド・九州

2023年の第1回大会開催に向けて、開催概要と推進体制を議論し、官民一体の実行委員会を設置することを確認した。

〈イベントコンセプト〉

“For our Future”とし、未来は我々自身の手で創り出す。九州のコロナからの復興のシンボルとし、九州・山口の未来につなげるイベントとする。

〈大会概要〉

国際スポーツ大会であるUCI(国際自転車競技連合)認定サイクルレースと、九州・山口サイクリング周遊型商品を同時期に展開する、全国でも類を見ない総合型サイクルイベントとする。

- ・国際サイクルレース「ツール・ド・九州2023」は、世界のトッププロを招聘し、第1回大会では、福岡・熊本・大分の3県を転戦。
- ・周遊型旅行商品「ディスカバー九州」では、自転車で九州を楽しんでもらう九州一周商品を展開し、ルートは今後推進委員会で決めていく。

【報告事項】

1. 九州・長崎IR

今年4月発足の「九州IR推進協議会」において、①九州へのIR誘致②IR需要の地元調達確保③九州全域の魅力発信 を実行していく旨の報告があった。

2. 第18回夏季セミナー

新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、

今年度の沖縄県での開催を見送り、改めて来年8月上旬での沖縄県開催が承認された。

最後に

九州地域戦略会議共同議長を8年間務めた麻生会長に対し、広瀬議長からKPI文化の定着等これまでの功績に対する感謝と御礼の言葉があり、麻生会長は「九州から日本を動かす！との思いで皆に動いていただき協力してもらった。戦略会議は他地域になく財産である」と謝辞を述べた。

コロナに打ち克つ！九州創生全力宣言

～「九州はひとつ」の思いを胸に～

九州・山口地域の社会経済活動は新型コロナウイルス感染症のため、この1年以上の長期にわたり多大な影響を受けている。加えて、驚異的な感染力を有する変異株が出現したことにより、新規感染者数の増加に歯止めがかからず、現在、感染症の収束について先行きの不透明感が更に高まっている。私たちは今こそ、持てる力の全てを傾注し、感染拡大防止に挑まなければならない。

一方、今回の新型コロナウイルス感染症は、「集中から分散」や「デジタル化の加速」など、社会全体に新しい流れをもたらしている。このようなパラダイムシフトともいえるべき社会変容をしっかりと受け止めた上で、成長センターであるアジアに近いといった九州・山口地域の強みを最大限に生かしつつ、社会経済活動の再活性化に前向きに取り組むことも強く求められている。

ワクチン接種も本格化し、困難を克服する道筋が見え始めた今こそ、私たちのふるさとである九州・山口地域が、以前にも増して安心・安全で生き生きと暮らすことのできる、活気に満ちた魅力ある地域社会となるよう、「九州はひとつ」の思いを胸に一丸となって、新たな時代を切り拓いていくことを宣言する。

○オール九州で新型コロナ感染拡大を阻止！

- ・3密の回避、外出自粛、県境をまたぐ移動の自粛
- ・検査体制の強化・拡充と積極的疫学調査の徹底による早期封じ込め

- ・感染者急増に対応する病床・医療従事者など医療提供体制の確保
 - ・一刻も早いワクチン接種の実施
 - ・新しい生活様式の実践など官民一体となった感染防止策の徹底
- 新たな時代を切り拓く九州創生の実現！
- ・機動的な需要喚起、消費拡大策の推進
 - ・デジタル・トランスフォーメーションの推進
 - ・地方回帰機運の高まりを捉えた人の流れ・移住定住のさらなる促進
 - ・農林水産物の輸出拡大などフードアイランド九州の推進
 - ・インバウンド需要回復時を見据えた取組の推進
 - ・脱炭素社会への挑戦
 - ・人やモノの移動を容易とする地方創生回廊の構築



麻生議長(左)、広瀬議長(右)による共同記者会見

出席者名簿(敬称略)

※5月19日現在

【九州地方知事会】

- | | | |
|-----|---------------|--------|
| 会長 | 広瀬 勝貞(大分県知事) | 〈共同議長〉 |
| 副会長 | 中村 法道(長崎県知事) | |
| | 服部誠太郎(福岡県知事) | |
| | 山口 祥義(佐賀県知事) | 〈監事〉 |
| | 蒲島 郁夫(熊本県知事) | |
| | 河野 俊嗣(宮崎県知事) | |
| | 塩田 康一(鹿児島県知事) | |
| | 村岡 嗣政(山口県知事) | |
| | 儀間 秀樹(沖縄県参事監) | ※代理 |

【(一社)九州経済連合会】

- | | | |
|-----|----------------------|--------|
| 会長 | 麻生 泰(麻生セメント(株)会長) | (共同議長) |
| 副会長 | 石原 進(九州旅客鉄道(株)特別顧問) | |
| 理事 | 小澤 正憲(西日本電信電話(株)取締役) | |

【九州商工会議所連合会】

- | | |
|----|------------------|
| 会長 | 藤永 憲一(株)九電工 特別顧問 |
|----|------------------|

【九州経済同友会】

- | | |
|------|---------------------------|
| 代表委員 | 賞 正義(九州電力(株)相談役) |
| 代表委員 | 姫野 昌治(株)大分銀行 会長 ※九州連副会長兼務 |

【九州経営者協会】

- | | |
|----|-------------------|
| 会長 | 倉富 純男(西日本鉄道(株)会長) |
|----|-------------------|

【経営管理室 鶴羽】

九州にIRを！～九州IR推進協議会発足～

と き 4月12日(月)

ところ 福岡市・ホテルニューオータニ博多(Web併催)

出席者 19名

九州地域戦略会議での承認を経て、このたび九州IR推進協議会が発足した。本協議会の発足によって、九州・長崎へのIR(統合型リゾート/インテグレートッド・リゾート)の誘致に向けた本格的な官民連携の動きが加速する。

1. 発足式概要

今般のIR公募において、九州からは長崎県が誘致を表明しているが、九州IR推進協議会は九州IRの実現を目指し、その誘致活動、ならびに誘致後の地元経済活動の活性化を目的として設立されたもので、その発足式が執り行われた。

当日、リモート参加を含めて出席者は本協議会の役員19名。また、マスコミ各社に公開し、第1回理事会も併催された。

冒頭、同協議会の麻生泰会長(九経連会長)は挨拶の中で、コロナ禍において長崎にはIR事業者5社の応募があったということ、九州・長崎IRの特徴や優位性、そしてこれまで官民一体となって誘致活動を行ってきたことへの評価、IRが九州にもたらす経済効果、雇用効果等について言及し、本協議会のミッションとその役割を果たすことでIR誘致を実現させると決意を述べた。

2. 役員構成

本協議会の会長、副会長は以下のとおり。

■会長：九州経済連合会会長

■副会長：九州商工会議所連合会会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長、九州商工会連合会会長、九州観光推進機構会長、九州地方知事会会長、九州各県議会議長会会長、長崎県知事、佐世保市長

また、12名の理事、1名の監事についても、九州の政財界のメンバーの混合で構成される



という、まさに官民一体型の組織として発足した。

3. 協議会が果たすべき役割

九州IR推進協議会の主なミッションは以下のとおり。

【ビジネスマッチング・ワーキング(WG)】

九州全域のさまざまな事業者とIR事業者との間でビジネスを展開させるためのIRビジネスの啓蒙活動やマッチングの場を設け、九州への経済的波及効果を高めることを目的とする。

【九州観光周遊WG】

今般、政府が最も重視するIR内の観光ショーケース機能について、高次元の観光機能を設定、提案を行い、IR誘致を実現させることが本WGのミッションとなる。

IR誘致活動もいよいよ最終コーナーに差し掛かり、今年度の動きが非常に重要になる中、本協議会に課せられた役割を果たし、IR誘致を現実のものとしたい。

【観光社会基盤部 升本】

倉富新会長体制がスタート

6月7日開催の第61回定時総会ならびに第164回理事会の議決を経て、倉富純男・西日本鉄道(株)会長が九経連第9代会長に就任、以下のとおり新体制がスタートした。

(任期：2023年6月開催の定時総会まで) ※定時総会等の詳細については次号(8月号)にて報告予定。

○印：新任 (敬称略)

役 職	氏 名	所属会社・役職(7月1日現在)	その他役職
会 長	○倉富 純男	西日本鉄道(株) 会長	
副会長	柴戸 隆成	(株)福岡銀行 会長兼頭取	第一会長職務代行
〃	甲斐 隆博	(株)肥後銀行 会長	第二会長職務代行、熊本地域委員長
〃	上村 基宏	(株)鹿児島銀行 会長	ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員長、鹿児島地域委員長
〃	森 拓二郎	(株)十八親和銀行 頭取	交通委員長、長崎地域委員長
〃	吉村 猛	(株)山口フィナンシャルグループ 会長	関門連携委員長、山口地域委員長
〃	平野 亘也	(株)宮崎銀行 会長	農林水産委員長、宮崎地域委員長
〃	瓜生 道明	九州電力(株) 会長	資源エネルギー・環境委員長
〃	大嶺 満	沖縄電力(株) 会長	沖縄連携フォーラム 議長
〃	喜多村 円	TOTO(株) 会長	国際委員長、北九州地域委員長※
〃	○唐池 恒二	九州旅客鉄道(株) 会長	観光委員長
〃	○後藤富一郎	(株)大分銀行 頭取	大分地域委員長
〃	○坂井 秀明	(株)佐賀銀行 頭取	佐賀地域委員長
〃	○永田 理	トヨタ自動車九州(株) 社長	
理事・名誉会長	麻生 泰	麻生セメント(株) 会長	
理 事	池内比呂子	(株)テノ・ホールディングス 社長	ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会 副委員長(企画部会長)
〃	米良 充典	米良電機産業(株) 社長	産業振興・デジタル推進委員会 副委員長(産業振興部会長)
〃	津田 純嗣	(株)安川電機 会長	産業振興・デジタル推進委員会 共同委員長
〃	石坂 淳子	(株)ひよ子 社長	
〃	大浦 敬子	(株)おとなの学校 代表取締役	
〃	入江 智祐	(株)ブリヂストン 九州生産部門長兼久留米工場長	筑後地区懇談会 議長
〃	西村 松次	(株)九電工 会長	
〃	○石橋 達朗	国立大学法人 九州大学 総長	産学連携懇談会 議長
〃	○梶原 全裕	西日本電信電話(株) 執行役員九州支店長	産業振興・デジタル推進委員会 共同委員長
〃	○野見山裕治	日本製鉄(株) 常務執行役員九州製鉄所長	北九州地域委員長※
〃	○村上 英之	(株)西日本シティ銀行 頭取	行財政委員長
監 事	酒見 俊夫	西部ガスホールディングス(株) 会長	
〃	齋藤 武	(株)NTTドコモ 執行役員九州支社長	
事務局役員	長尾 成美	(一社)九州経済連合会 専務理事	
〃	平井 彰	(一社)九州経済連合会 常務理事 事務局長	

※北九州地域委員長は1年交代(2021年度は喜多村副会長)

10日(月) [福岡市・グラントハイアット福岡]

第163回理事会
出席者：19名

麻生泰会長を議長に、①理事、監事 候補選任(案) ②会長、副会長、専務理事、常務理事候補選任(案) ③2020年度事業報告(案) ④2020年度収支決算(案) ⑤第61回定時総会の招集および会議の目的事項(案)の5つの議案を審議し、いずれも承認された。

このうち議案①②に基づく新しい役員体制については、6月7日開催の第61回定時総会・第164回理事会に付議して審議・決定した。

※本誌5ページに役員名簿を掲載

13日(木) [Web開催]

中国大連・日本九州協力セミナー
出席者：大連会場113名、Web103名

大連市人民政府、中国駐福岡総領事館主催、北九州市、九経連ほか後援のもと、大連市にて昨年開設された「中日地方都市発展協力モデル区」をPRする標記セミナーが開催された。

来賓挨拶にて本会麻生泰会長より、九州と大連のつながりや近年の九経連と中国との関わりについて紹介。また、今後中国に向け九州産食品の輸出を後押ししたいことをアピールした。モデル区の紹介では、各エリアの位置付けや特徴が紹介された。加えて、大連に進出している(株)福岡銀行、(株)正興電機製作所、TOTO(株)等九州企業による事例紹介が行われた。

13日(木) [Web開催]

下関北九州道路建設促進協議会第1回幹事会
出席者：8名

新型コロナウイルス感染拡大防止のためWebにて開催。本協議会幹事に対し、2020年度事業報告および収支決算報告、2021年度事業計画(案)および収支予算(案)、下関北九州道路の早期実現に関する要望(案)等の2021年度総会議案について意見照会を行った。

8月開催の本協議会総会において、上記議案を審議する。

19日(水) [Web開催]

第39回九州地域戦略会議
出席者：16名

第39回九州地域戦略会議をWebにて開催。第2期九州創生アクションプラン(JEWELS+)の2021年度重点取り組みを審議し、「コロナに打ち克つ!九州創生全力宣言」を採択した後、「ツール・ド・九州」の2023年第1回大会の開催を正式決定した。

最後に、共同議長を8年間務めた麻生泰会長から広瀬勝貞議長をはじめ各県知事へ、これまでの官民一体となった取り組みへの謝辞を伝えた。

※本誌2～3ページ「活動報告」に詳細を掲載

21日(金) [Web開催]

第1回本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク連絡会
出席者：87名

焼酎・泡盛の輸出拡大を目的に設立された官民組織「本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク」*の第1回会合が開催された。九州・沖縄の蔵元、物流・商社等関係企業、自治体・JETRO等行政・支援機関を中心に、5月現在96団体が会員として参画。

前半では、事務局より当該ネットワーク設立趣旨説明や質疑応答を実施。後半では、会員機関からの情報提供として、「ソーシャル越境ECについての取り組み」「中国向けの販路開拓事業」「輸出通関や輸送時のトラブル等の紹介とその対処法」について、それぞれご紹介いただいた。今後の連絡会でも会員機関からの事例紹介を取り上げ、会員間の交流を活発に進めていく。 *次号(8月号)にて詳細を掲載予定

26日(水) [Web開催]

九州航空宇宙開発推進協議会第1回幹事会
出席者：30名

幹事の九州7県、北九州市、大学関係、民間企業あわせて30名が出席。7月開催の定時総会に向け、2020年度事業結果(決算)報告および2021年度事業計画(予算)について審議し、承認された。

2020年度の新型コロナ感染拡大による活動縮小のため例年より増大した次年度繰越金の使途については、第3次企画委員会による検討内容を踏まえ、将来における航空宇宙産業発展のために積極的かつ有効な事業展開および資金活用を図っていくことが重要との意見が出された。

27日(木) [Web開催]

シンガポール販路開拓ウェビナー
出席者：96名

シンガポールへの輸出事業展開成功の秘訣を伝えるウェビナーを開催した。第一部では、福岡国際空港(株)のチンリオン・テオ執行役員空港営業本部長より、同社が海外エアラインの就航を促す取り組みに利用する、九州のセールスポイントが紹介された。

第二部のトークセッションでは、チャンギ空港併設の商業施設「JEWEL」で飲食や小売の運営を行うJRE GF FOOD SERVICEの大見山俊雄ディレクターや、現地に豊富なネットワークを持つコンサルタントのR&W Consultancy天野礼子代表、GPCの泉美帆コンサルティングマネージャー、また九州農水産物直販(株)の高村水碧部長が売り手の立場として登場し、事前に集まった参加者からの質問に回答した。ウェビナー中も多くの質問が投稿され、関心の高さがうかがえた。今後、セールスポイントを活かし、九州企業の海外展開が拡大することが期待される。



中小企業向け 情報セキュリティ対策

(2021年2月25日(木)第2回サイバーセキュリティセミナーでの講演)

情報通信委員会では、サイバーセキュリティ対策の推進に向け、セミナーを実施している。今回は(独)情報処理推進機構(IPA)による講演の概要を紹介する。

■情報セキュリティ10大脅威について

IPAでは「情報セキュリティ10大脅威」を公表している。今回は2020年度の10大脅威に基づき、内容の一部について説明する。

順位	「組織」向け脅威
1	標的型攻撃による機密情報の窃取
2	内部不正による情報漏えい
3	ビジネスメール詐欺による金銭被害
4	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
5	ランサムウェアによる被害
6	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
7	不注意による情報漏えい
8	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取
9	IoT機器の不正利用
10	サービス妨害攻撃によるサービスの停止

1位：標的型攻撃による機密情報の窃取

企業の社屋の中で勤務していれば、傍らにセキュリティ担当者やコンピュータに詳しい社員がいるため、少しでもパソコンに異常があればすぐに周りに聞くことができるが、在宅勤務になると自分自身が最後の砦となり、標的型メールを開けてしまい、情報が窃取される危険が増えている。

4位：サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃

大手企業と取引のある中小企業を踏み台にしたサイバー攻撃が増えており、委託先だけでなく再委託先にまで攻撃の手は伸びている。またセキュリティ事故の8割はヒューマンエラーとも言われている。社員へのセキュリティに関する教育や、セキュリティに配慮して仕事をやるための規程作成、待遇面の改善も必要ではないかと考える。

5位：ランサムウェアによる被害

ランサムウェアに対してはさまざまな対処方法があるが、100%の対処は難しいため、日



(独)情報処理推進機構 (IPA)
セキュリティセンター 企画部
中小企業支援グループ 専門委員



(株)ストラテジア 代表取締役
セキュリティプレゼンター

平原 隆 前田 憲太郎

頃からデータのバックアップをしっかりと取る必要がある。セキュリティ対策は事業継続のために行うものであり、データのバックアップは有効な手段である。バックアップが取れているか、自分の目で確認していただきたい。

7位：不注意による情報漏えい

テレワーク等により、さまざまな情報を外に持ち出すようになった。その移動途中において、忘れたり、落したり、盗られたりすることにより情報が漏えいする。漏えいのほとんどが紙ベースではあるが、USBメモリーは1本に何百万枚もの紙データが格納できるため、被害が甚大になることを十分に認識していただきたい。

持ち出すデータについては管理簿を作成し、管理し、把握しておく必要がある。管理簿に記入することにより責任感が生じ、漏えいを防ぐことにもなる。

9位：IoT機器の不正利用

テレワークやWeb会議を行うにあたり、さまざまな機器、IoT機器、周辺機器等を導入された企業が多いと思う。ルーター等の機器については、購入時のデフォルトのままでの使用は避けてほしい。内部ソフトウェアのアップデートの確認、設定用IDとパスワードの変更、メーカーのホームページ等からの情報の確認をしていただきたい。

■セキュリティプレゼンター制度の紹介

IPAのセキュリティ対策資料等を活用し、中小企業に対して情報セキュリティの普及啓発を行う人材を「セキュリティプレゼンター」として登録している。現在全国で1,600名。「セキュリティプレゼンター 検索」とWeb検索すればサイトを確認できる。セミナーや講演、ポリシー策定支援等で本制度を活用願いたい。

■10の課題とそれぞれが描く将来像

2030年のありたい姿実現に向けて、九州が取り組むべき10の課題を整理した。今後は、それぞれが描く将来像を目指し、課題の関連性を踏まえつつ、新たな価値創出やコミュニティの形成に向けて取り組んでいく。

課題1 日本を動かすリーディング産業の育成・誘致

将来の九州経済を活性化し、GDPの引き上げや所得水準の向上、さらに雇用拡大を図るため、九州の優位性ある資源やデジタル技術を活かして新たな基幹産業を創出する。

課題2 カーボンニュートラルを先導するエネルギー環境の整備

持続可能な世界屈指のクリーンエネルギー九州を実現するため、再生可能エネルギーの有効活用やそれに資する資金調達などの体制を整備し、需要側を含めた環境先進モデルを構築して経済成長に寄与する。

課題3 生産性向上と新たな価値を生み出す九州イノベーションエコシステムの構築

絶え間なくイノベーションを生み出し、持続的な産業の活性化を図るため、事業会社とベンチャーによる価値共創、産学の融合等により、域内で自律的かつ連続的にイノベーションが生み出されるシステムを構築する。

課題4 地理的優位性を活かしたアジアとのシームレス化

日本の中でアジア諸地域に最も近い九州がビジネスの最適地として世界から選ばれるため、海外とのヒト・モノ・カネ・情報の往来を活発化させるべく、魅力的な国際ビジネス環境の整備に取り組む。

課題5 新たな時代を担う教育・人材育成

デジタル化やグローバル化が加速する中で、IT人材、グローバル人材を確保するため、国際競争力のある人材育成メニューの充実や、その人材を受け止める組織インフラ・制度の整備に取り組む。

課題6 暮らしやすさ (Quality of Life) と新たな価値の創出

地域の資産(自然や文化など)の恩恵を享受しつつ、イノベーションによって各人が求める働き方や生き方が実現できる地域モデルを創る。

課題7 共助社会を実現するダイバーシティ・インクルージョンコミュニティ形成

誰もが属性に捉われずチャレンジして活躍できる社会を目指し、多様な価値観を認め、各人の強みを活かし共助共生しながらともに成長できるコミュニティを形成する。

課題8 「成長エンジン」と「幸せコミュニティ」を支えるインフラ整備

バランス良く配置された九州の各都市の経済・生活機能が効率的かつ最大限に発揮できるよう、地域間連携に資するICT基盤や産学官民連携したデータ流通の促進および交通インフラの整備に取り組む。

課題9 分散型社会の一翼を担う自立型広域経済圏モデルの構築

人口減少、高齢化が加速している中でも地域経済・コミュニティを維持できるよう、強みである広域連携力を活かして、9県が自立しつつも一体となって地域活性化に取り組む連携モデルを構築する。

課題10 安心安全を確保する防災レジリエンス・バックアップ機能強化

異常気象や巨大地震発生などのリスクが年々高まる中、住民が安心して生活できるよう防災レジリエンス(予測力・予防力・対応力)を高めるとともに、首都圏での災害発生時のバックアップ機能構築にも取り組む。



本会HPに電子パンフレットを掲載しています(下記QRコードからもご覧いただけます)。



【地域政策部 伊豫田】

企業とインドネシア企業との協業が進む等の成果が出ている。

このほか、医療・介護部会では日本での介護人材不足が課題となる中、アジア各国からの介護人材受け入れを拡大すべく、環境整備に向けて部会に参画する企業同士の協業を進めている。中堅・中小企業支援部会では海外進出に向けたセミナーを開催。農業部会では部会参画企業が持つ農業技術をアジア各国に売り込み、さらに、環境部会では、環境ビジネス創出に向けた取り組みを推進している。

バンコク・デスク、ウェブサイト

アジア各国の経済団体や企業との連携を強化し、ビジネス創出を加速するために、2020年2月、タイ・バンコクにABCプラットフォームのデスクを立ち上げた。プラットフォーム構成団体の一つであるタイ工業連盟のご協力のもと、同団体のオフィス内に「バンコク・デスク」を設置し当会職員が常駐している。また、同年4月にはABCプラットフォームのウェブサイトを全面リニューアルした。各部会やプラットフォーム構成団体の活動状況をリアルタイムで発信しているほか、国内外の企業・団体の技術・商材情報を掲載し、ウェブサイトを通じたビジネスマッチングを推進している。

ウェブサイトURL：<https://www.abc-pf.org/>

当会と九州経済連合会とは、1961年の同会創立以降、定期的に情報交換会を開催し、さまざまな事業分野で交流してまいりました。ABCプラットフォーム事業でも密接に連携して、日本経済の活性化につなげていければと思っています。そのためにも、本事業に九経連の会員企業の皆さまをはじめ、多くの九州の企業、団体、行政にご参加いただければと考えています。

各テーマ別部会には、当会の会員でなくても参加可能となっており、バンコク・デスクへのご相談やウェブサイトにて自社の技術・商材情報を掲載してアジアにPRしていただくことも可能です。ご関心のある方は、ぜひ以下の問い合わせ先にご連絡をくださいますようお願いいたします。

《問い合わせ先》

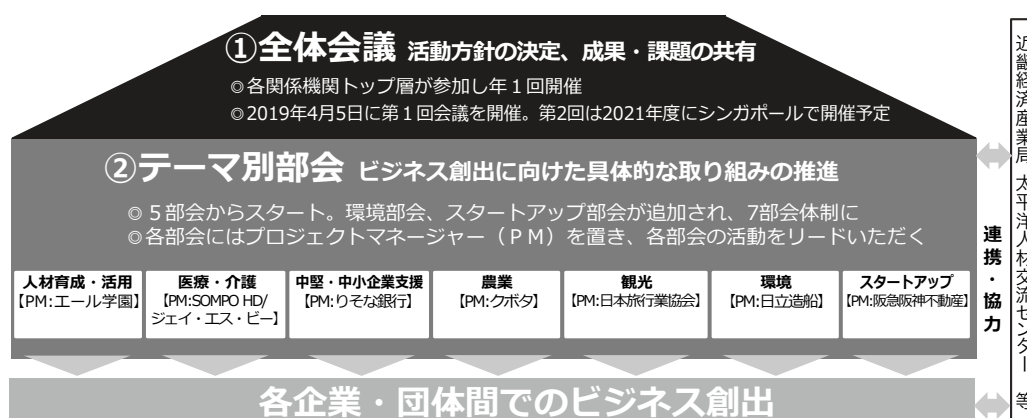
公益社団法人 関西経済連合会 国際部

TEL：06-6441-0104

Email：abcplatform@kankeiren.or.jp

※上記メールでお問い合わせの際、CCに九経連国際部を入れてくださいますようお願いいたします。

Email：kokusai@kyukeiren.or.jp



①全体会議 活動方針の決定、成果・課題の共有

- ◎各関係機関トップ層が参加し年1回開催
- ◎2019年4月5日に第1回会議を開催。第2回は2021年度にシンガポールで開催予定

②テーマ別部会 ビジネス創出に向けた具体的な取り組みの推進

- ◎5部会からスタート。環境部会、スタートアップ部会が追加され、7部会体制に
- ◎各部会にはプロジェクトマネージャー（PM）を置き、各部会の活動をリードいただく

人材育成・活用 【PM:エール学園】	医療・介護 【PM:SOMPO HD/ ジェイ・エス・ビー】	中堅・中小企業支援 【PM:りそな銀行】	農業 【PM:クボタ】	観光 【PM:日本旅行業協会】	環境 【PM:日立造船】	スタートアップ 【PM:阪急阪神不動産】
-----------------------	--------------------------------------	-------------------------	----------------	--------------------	-----------------	-------------------------

各企業・団体間でのビジネス創出

テーマ別部会	主な取り組み
人材育成・活用	・アジアの中核人材の育成・活用を図るため、アジアの大学生・日本で学ぶ留学生と日本の企業との就職マッチングなどを推進
医療・介護	・アジアからの介護人材の受け入れ拡大に向け、日本の介護事業者の協業を促進
中堅・中小企業支援	・アジアにおける日本の中堅中小企業のビジネス拡大に向け、セミナーやビジネスツアー等を実施し、海外企業とのビジネスマッチングを支援
農業	・日本企業の農業技術とアジア企業のニーズとのマッチングに向けた取り組みを推進
観光	・インバウンド復活を見据え、ムスリム旅行者向けのハラル関連ビジネス創出に向けた取り組みを推進
環境	・アジアの環境問題改善に向け、工場や工業団地等の民需および上下水道や廃棄物処理施設などの官需に対応した環境ビジネス創出を支援
スタートアップ	・アジアのスタートアップと日本企業、日本のスタートアップとアジア企業との連携促進のための各種イベントを実施



Impressions of Foreigners Working in Kyushu

Interview with Ritsumeikan Asia Pacific University (APU)

Mr. Hsiung Hann-shiuh, interviewed by Mari Yoder
Beppu, Oita, March 29th 2021.



Hsiung Hann-shiuh is from Wellington, New Zealand, and has been employed at Ritsumeikan Asia Pacific University (APU) for the past 19 years. He has lived in Oita since 2002, the 3rd year of APU. A Japanese history enthusiast, he enjoys visiting and studying places of historical significance, especially those with unsolved mysteries.

Mari Yoder (MY): Why did you come to Japan?

Hsiung Hann-shiuh (HH): I studied Japanese in college because it was a very popular language to study at the time. Having studied it for a year, I decided to experience Japan by joining an academic exchange program in Kansai. Upon graduation, I joined the JET program for 2 years and I was placed in Oita prefecture. APU was also in the same prefecture, and I heard that they were looking for international staff so I decided to send in my application. Fortunately I was accepted, and I've been here since.

MY: What is your role at APU?

HH: Currently I work in the Office of the President, and I'm mainly in charge of the Alumni Association. Over the last 17 years, we have had 20,060 graduates of both our undergraduate colleges and graduate schools from 144 countries. Many of our alumni reside overseas, so we have 27 chapters outside of Japan and 10 chapters in the country.

My role is to work closely with our alumni and figure out how we can work together, and help them with whatever they need in order to achieve even more active communication between themselves and current students. The greatest thing that they can contribute to their alma mater is to use their experience and knowledge to assist our current students. We want to create a sense of belonging, so from

the moment new students enter the university they have a strong sense of community.



MY: Have you faced any challenges working here?

HH: Yes, absolutely. The presence of APU over the past 2 decades has really helped the local community to become accustomed to the idea of diversity, with a broad range of cultures coexisting. And at the moment I can say it's one of the best places to live for non-Japanese residents because we have over 3,000 non-Japanese residents here including our students, faculty, staff, and other workers so I almost never feel living in Beppu is much of a challenge.

However, there's one thing that our students face that has troubled me in the past. They receive a very high standard of medical care and all of our students are covered by the national health insurance. However when it comes to some form of mental illness, there's usually very limited care the local medical institutions may provide for our students because of the language barrier. They often have to go far away, sometimes as far as to their own country to receive the kind of treatment they may need, and that has been very difficult for our students. We have explored options online, which would mean our students may be able to seek help from practitioners who are farther away, but we have yet to resolve the situation.

MY: How has COVID-19 impacted life at APU?

HH: Since nearly half of our student body is international and they come from 95 countries around the world, the impact is probably greater than at other educational institutions in Japan. Shortly after the outbreak of the virus in Japan, we came to the conclusion that our Spring 2020 graduation and entrance ceremonies had to be canceled, and later

decided to hold the Fall 2020 graduation and entrance ceremonies online. We were able to host the ceremonies onsite in April 2021. Because of COVID-19, many of our international students were not able to enter Japan, and over a year later this is still the case. From April 2020 all of our classes were able to go online within a very short period from the beginning of March, where we were just exploring options, to by the end of the month being fully equipped and ready to offer classes through Zoom. It was quite remarkable.

Throughout this period, many of the students who were unable to enter Japan had to attend classes from locations where there may be a great time difference. And those who are here strictly observe the guidelines for preventing disease, which means there is very little interaction between the students so it has been very tough for almost everyone.

But it has also been an opportunity for us to realize what we can achieve online, and the advantages of using other methods of delivering our classes. For example, 25 of our alumni are in the United Nations system, in different locations around the world and some of them were able to convene online and share their experiences with our current students which has proven to be very beneficial. So even after COVID-19 has eased, we would still like to see many of the online activities to go on as we've come to discover the strength of holding them.

MY: Is there anything you'd like to say to our readers?

HH: APU has a program for company employees called GCEP (Global Competency Enhancement Program). We customize our training programs in consultation with our corporate clients, in order to meet the needs and challenges of global human resource development which differ from company to company. The programs are very business oriented and include practical training that takes advantage of APU's multicultural environment. From the spring of 2020 we decided to temporarily offer this program online, so this could be a great opportunity for

the readers of your magazine to consider.

MY: Do you have any advice for international students who want to work in Japan?

HH: I would encourage them to improve their language proficiency, but more than that to immerse themselves in all aspects of Japanese culture. When one learns a language, I believe they do not just acquire the language but there's a whole world view embodied in it. If they want to stay in Japan, they need to not only gain linguistic ability but also come in close contact with that world view.

I would also ask them to find a good match for themselves by not just looking at an organization's success or the attractiveness, but also ask themselves how they can contribute to the industry or field they may wish to go into. It will not be easy, but I encourage them to ... I quote Mahatma Gandhi, "Be the change you wish to see in the world".

(要旨)

立命館アジア太平洋大学 (APU) の学長室に勤務するニュージーランド出身のショーンさんは勤続19年。日本の歴史、特に未解決な謎が残されている歴史的に重要な場所を訪れるのが好きだ。

APUでは主に同窓会を担当している。国内外の卒業生が母校に対してできる最大の貢献は、その経験と知識で在校生を支援することだと考え、海外27、国内10の支部と連携して卒業生と在学生の交流のさらなる活性化に努めている。

APUの存在により、さまざまな文化が共存する多様性の概念が地元別府市に浸透した。学生も国保の適用を受け地元で高水準の医療を受診できるが、精神面の診療科目については言語の障壁などがあり、診療体制がまだ十分とはいえない。

コロナの影響で新規留学生が来日できないなどさまざまな影響が出ているが、コロナ発生直後の昨年4月には遠隔授業を開始することができた。

日本での就職を希望する留学生には、日本語を身に付けるだけでなく、その背景にある文化や世界観にも触れて、理解を広げてほしい。

APUは企業向けグローバル人材育成研修プログラム「GCEP (グローバル対応力向上プログラム)」をオンラインで提供している (下記参照)。

<https://youtu.be/vPISQblfDkk>



<2019年5月16日入会>

会社紹介

弊社は農作物に特化した物流企業で、佐賀、鹿児島、沖縄、岡山、兵庫に拠点をもち、農作物を集約・保管し、ルート配送だけではなく拠点をもとに面での配送を実施しています。九州エリアは九州本土から南は沖縄県まで九州一円をカバーし、九州のみならず全国各地から集約した農作物や輸入品を輸送しています。また、中国・四国・山陰エリアは岡山、近畿・北陸エリアは兵庫の拠点を中心に、西日本エリアの農作物の輸送を網羅し、中部・関東・東北・北海道と東日本エリアの輸送も実施しています。

農作物の多くは収穫期が限定され、鮮度が維持できる限られた期間でしか販売が困難な中、端境期は価格が高く、全く供給されないこともあります。また、天候に左右されて、豊作時には供給過多で価格が下落・廃棄となることが多い一方、不作時には需要過多で相場が高騰します。供給が不安定なため価格も不安定で、生産者も消費者も喜べません。

そのような中、弊社独自の長期保管の特許技術で、収穫されたものをなるべく鮮度を維持しながらより長く保管し出荷量を調整できるようさまざまな挑戦を行っています。また、農作物の特性を熟知し、農作物ごとに最適な倉庫、温度帯・湿度帯で取り扱いをすることで、「もっと美味しく、もっと新鮮な状態」でお届けできるよう細心の注意を払っています。

2020年3月にはタイの農産物の加工輸出を手がけるタニヤマ・サイアム社をグループに迎え入れ、今後は日本のみならず東南アジアにおける農作物の物流を担ってまいりたいと思います。また、2021年1月には商品開発プロジェクト「ソノリク農作物劇場」をスタートしました。農作物から新たな魅力を引き出し、消費者の元に新しい商品として届けていくことで「より多様で豊かな農作物の世界」を目指していきます。

会社名	株式会社福岡ソノリク
創業	1992年4月13日
代表者	代表取締役社長 園田 壽俊
事業内容	農作物に特化した①運送 ②保管 ③青果調達・販売 ④カミサーの一貫物流、農作物の輸出入
従業員数	217名(アルバイト・パートも含む)2021年5月現在
本社所在地	〒841-0023 佐賀県鳥栖市姫方町1660番地
電話番号	0942-87-3275
関連会社等	株式会社福岡ソノリク昂進輸送、株式会社福岡ソノリク岡山食品輸送、インターハーベストジャパン株式会社、有限会社ソノリク保険サービス、TANIYAMA SIAM CO., LTD.
ホームページ	http://www.fukuokasonoriku.co.jp/

会社概要

福岡ソノリクは、農作物の保管・加工機能を備えた西日本最大の農作物集約拠点を持つ、農作物に特化した一貫物流企業です。長年の研究を経て習得した技術や農作物の長期保管を可能にした特許冷蔵庫等を活かしたワンランク上の保管技術と輸送で、農業の持続可能性を高める取り組みを推進しています。また、近年は日本の農作物の輸出や規格外の農作物を使った商品開発、農業の活性化を目指した取り組みにも力を入れています。



代表取締役社長 園田 壽俊



鳥栖本社

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)



ミス沖縄クリーン
グリーングレイシャス
新里瑞紀

皆さま、はいたい！ミス沖縄クリーングリーングレイシャスの新里瑞紀です。
今月は沖縄本島中部、読谷村にある「体験王国むら咲きむら」をご紹介します。
日々、YouTubeやFacebook、Instagramを通して、沖縄の魅力をお届けして
おります。ぜひチャンネル登録&いいねをお願いします！



■「ミス沖縄公式YouTubeチャンネル」はこちら <https://bit.ly/2Fa1tIW>

新型コロナウイルス感染予防・拡散防止に取り組んでいます！

～体験王国むら咲きむら～ (沖縄県中頭郡読谷村高志保1020-1)

体験王国むら咲きむらでは、「シーサー」や「かんから三線」作りなどの伝統工芸、「ちんすこう」や「ぶくぶく茶」といった沖縄料理、「シュノーケル」や「ダイビング」などのマリン体験、その他にも全部で101の体験を楽しむことができます。先日私たちもお伺いし、「島ぞうり彫り」や「琉球藍染」「紅型染め」「琉球舞踊」を体験しました。

体験を通して沖縄の誇る文化を堪能することができ、素敵なひとときを過ごすことができました。屋内で体験できるメニューも多いため、雨の日でもお楽しみいただけます。また、小さなお子様でも親子で体験することができるため、子どもから大人まで楽しめる施設となっております。



「体験王国むら咲きむら」で沖縄旅行の思い出を作ってみませんか。



【今月のおススメ】エイサー

「エイサー」という言葉を聞いたことがある方も多いと思いますが、このエイサーは、旧盆に行われている精霊供養の踊りで、もともとは念仏踊りのひとつでした。エイサーとは、ダイナミックな演舞をする大太鼓、軽やかな動きと舞を披露する締太鼓、手で動きを表現し華を添える男踊り・女踊り、コミカルな動きで観客を楽しませるチョンダラーが加わって踊る、沖縄の伝統芸能です。

エイサーという呼称も「エイサー、エイサー」という念仏歌の囃子(ハヤシ、合いの手)が由来といわれています。

各地域の青年会によって、曲や踊り、衣装もさまざま、どこからともなく聞こえてくる太鼓の音色と囃子の声に、心地よさと心が躍る気持ちを感じることができます。

現在では全国各地で見られるようになったエイサー。一度沖縄で、本場のエイサーを味わってみてはいかがでしょうか。



ミス沖縄紹介Webページ <https://www.ocvb.or.jp/activities/missOkinawa> も併せてご覧ください。



皆さまへ沖縄の魅力をお届けいたします。



九州観光推進機構 ニュース

九州観光ポータルサイト「九州旅ネット」で
旅行者に人気のモデルコースを今月から順次ご紹介！

① 気分爽快ドライブ！大自然＋温泉コース

このコースのエリア 福岡県 熊本県 大分県	日数 2泊3日
おすすめシーズン 春 夏	一人旅／家族旅行



雄大な景色が広がる九州中部をレンタカーで駆け抜けよう。特に熊本県・阿蘇エリアは迫力満点！息をのむような美しい景色が広がる。美肌の湯にも立ち寄って、リフレッシュな旅を満喫。

START **1日目 山鹿～阿蘇（熊本に着いたら、車で平山温泉へ。熊本空港を利用すれば、1時間程度と近くて便利）**

① 朝イチで湯巡り。今、九州で一番ホットな平山温泉へ

11:00 湯に入ると肌にしっとりとしたベールをまとったようなやわらかな肌触りの湯。湯上りの後もスベスベとした肌触りが続き、その感触にとりこになりそう！立ち寄り湯が300円～と手頃感もうれしい。



◇平山温泉

平山温泉は、山鹿市と和水町との境に位置している小さな温泉郷です。郷愁漂う田園風景の中にひっそりと佇む風情とともに、「美肌の湯」と呼ばれる、化粧品美容液のような、ぬるぬるとしたお湯が自慢です。リピーターも多く、古くから医治効用の高い良質の温泉としても親しまれています。



▼ 車で約1時間30分 ▼

② 大自然の中を絶景ドライブ

12:30 阿蘇の雄大な自然を眺めながら、爽快ドライブ。



◇大観峰

内牧温泉の北東方にある北外輪山の一峰。かつて遠見ヶ鼻と呼ばれていましたが、大正11年5月小島内牧町長の要請により、文豪徳富蘇峰が大観峰と名づけました。360度のパノラマが楽しめる阿蘇随一のビュースポットで、阿蘇の街並みや阿蘇五岳、くじゅう連峰までが一望できます。ここから望む阿蘇五岳は、お釈迦様の寝姿に見えることから「涅槃像」と呼ばれており、秋から冬にかけては神秘的な雲海に出合えることも！お土産店や食事処もあり、天体観測のスポットとしても人気です。



▼ 車で約40分 ▼

③ ランチは、阿蘇名物田舎家で田楽を

13:30 じっくりと炭で炊き上げるので、味噌の香ばしい香りが食欲をそそります。



◇高森の田楽

食材を一本の串に刺し、味噌を塗って炭火の前に立てて炙り焼く田楽。この名は田楽芸人が「高足の曲」という曲技を演じた姿と似ていることからついたといわれています。高森の田楽は豆腐や芋、こんにゃく、ヤマメなどを串に刺し、じっくりと囲炉裏の炭火で焼き、さらに仕上げの味噌をつけて炙ります。高森で田楽が食されるようになった時代は、12世紀の鎌倉時代の説があり、少なくとも室町時代には寺の落慶法要に田楽を出したという記録があります。また、江戸時代には巡視に訪れた細川藩士を田楽でもてなしたといわれており、また、高森の田楽はかつて農地で村人が車座になり、収穫を祝って食べたときされています。田楽に使う味噌は、赤酒、黒砂糖などを加えて練ったもの。また、芋は高森特産のつるのこ芋で、特性の田楽味噌との相性が良く、味噌の香ばしい香りが食欲をそそります。



▼ 車で約20分 ▼

④ まだまだ見どころいっぱいの阿蘇の自然に触れる

15:00 トンネル掘削の途中で大量出水したため、工事を中断。公園として整備され観光名所に。一番奥まで進むとウォーターパールという湧水アトラクションがある。

◇高森湧水トンネル公園

旧国鉄が県境を越える鉄道を計画しトンネルを掘削していましたが、途中で地下水源を切断してしまい、大量の出水に見舞われました。結局、湧水量の多さから鉄道建設は中止となり、その跡地にできたのが「高



森湧水トンネル公園」です。トンネルの長さは2,055mで、湧水量は毎分32トン。トンネル内では、掘り残された岩盤から滝のように流れる水源や、水玉が不思議な動きをする仕掛け噴水“ウォーターパール”を見ることができるほか、7月には「七夕まつり」、11月中旬～12月には「クリスマスファンタジー」が開催されます。トンネルのことを詳しく説明した資料館「湧水館」も併設。

START 2日目 九重～日田(大分の絶景ドライブへ出発! 青い空と緑の山々に囲まれた美しい景色が続く。大吊橋では迫力のパノラマビューを体感)



⑤ 立ち寄りスポット充実のやまなみハイウェイへ

10:00

◇やまなみハイウェイ

別府市から阿蘇市一の宮をつなぐ県道11号の愛称。くじゅう連山に抱かれた飯田高原一帯は草原の大パノラマが広がります。親子で楽しめるレジャースポットや温泉、高原グルメなどが味わえる店が点在しているので、ドライブにもピッタリです。

▼ 車で約1時間30分 ▼

⑥ やまなみを抜けてくじゅうへ 大吊橋からの絶景を眺める



13:00 標高777m地点に架かる高さ173m、長さ390mの日本一の人道専用吊橋『九重“夢”大吊橋』をぜひ体験してみよう。

◇【新】九重“夢”大吊橋 自然体験・環境学習

修学旅行の人気ルートに「やまなみハイウェイ」沿線と周辺に、人が渡る吊橋としては高さ日本一の九重“夢”大吊橋、ラムサール条約に登録されたくじゅう坊ガツル・タデ原湿原があり、雄大な自然を体験できます。また、冬季にはスキー場もあり、スポーツ対戦とセットで自然体験メニューが充実しています。

▼ 車で約1時間 ▼

⑦ 日田のレトロな街並みをぶらりと散策してみよう

16:00 城下町の風情漂う日田。天領時代の街並みが残る豆田町は、国の重要伝統建造物保存地区として選定され、まるでタイムスリップしたような感覚に。豆田町のスイーツの注目度も高い。

◇日田温泉



日田は江戸時代の天領地(幕府直轄地)として知られ、豆田町にその往時の姿を残しています。温泉としての歴史は浅く、日田市で温泉の掘削が始まったのは明治時代で、行政や民間が盛んに試掘を重ねましたが、いずれも失敗に終わっています。昭和26年、ようやく民間が掘削に成功し、三隈川の左岸で共同浴場を運営しましたが、28年の筑後川大水害で流出し、旅館街が温泉を手に入れたのは、市が2つの泉源の掘削に成功した昭和35年のことでした。老舗旅館などが温泉を引き、三隈川に屋形船を浮かべて鵜飼い見学や花火鑑賞、冬の雪見酒などの趣向を凝らしています。

温泉の泉質：40～42度 単純温泉・ナトリウム炭酸水素塩化物泉 温泉の効能：神経痛、リウマチ
温泉の開湯年：昭和36年 日帰り入浴：可 飲用の効能：リウマチ・運動器障害

START 3日目 中津～北九州(自然満喫型ドライブの締めは、大分屈指のビュースポット、耶馬溪に。帰りは北九州経由で福岡へ)

⑧ 朝から気分爽快! 耶馬溪の絶景を見に行こう



10:00 景勝地として名高い耶馬溪は、紅葉の季節をはじめ、四季折々に風光明媚な景色を楽しめる。目にしっかりと焼きつけておこう。

◇耶馬溪

奇岩秀峰の溪谷

奇岩秀峰と清流の織りなす景観は、ひときわ目をひく景勝地として知られています。また紅葉の名所で、中でも「一目八景(ひとめはっけい)」で知られる深耶馬溪は絶景です。

サイクリングで快適に! ～メイプル耶馬サイクリン～

県道白木沖代線～山国町守実間の約36キロ。このうち22キロが自転車専用道です。山国川のせせらぎを聞きながら木陰や廃線となった鉄道のトンネルを抜け、耶馬溪の谷を走ります。春は桜や新緑、秋は紅葉が楽しめるコースとなっています。

耶馬溪サイクリングターミナルでは自転車のレンタル(約200台)も行っており、宿泊も可能です。

▼ 車で約1時間 ▼

⑨ 門司港でレトロな建物をウォッチング

14:00 JR門司港駅周辺に明治、大正時代の洋風建築の建物が集結。レトロ&モダンな街並みを散歩しよう。

▼ 車で約1時間強 ▼

門司港から福岡市内までは車で約1時間強。早めに戻れば、おみやげ選びの時間も確保できる。

GOAL 福岡市

九州観光推進機構のホームページ <https://www.welcomekyushu.jp> 「九州旅ネット」も併せてご覧ください。

【本件問い合わせ先】(一社)九州観光推進機構 (TEL: 092-751-2951)

地域 動向

九州・山口

山口 Yamaguchi



「やまぐち農林水産業新規就業 ガイダンス」を開催！

山口県では「担い手支援日本一」を掲げ、農林水産業の新規就業者の確保・定着に取り組んでいる。

取り組みの一つとして、「やまぐち農林水産業新規就業ガイダンス」を年2回開催する。ガイダンスには、県内農林水産業の法人、市町やハローワークなど約50団体が出展し、会場内での個別相談、県外在住者などを対象としたオンライン相談を行う。

県内農林水産業の法人や団体との相談を通して、仕事の「やりがい」や「苦労話」が聞け、就業のイメージを膨らませることができる。また、市町などから、研修制度や支援制度の説明を聞くことで、就業に対する不安も解消できる。

山口県での農林水産業への就業に関心のある方は、ぜひ、ご参加ください。

【開催日時】1回目：8月1日(日)13時～16時
2回目：2022年1月下旬頃の予定

【開催場所】1回目：山口グランドホテル
(山口市小郡黄金町1-1)
2回目：山口県立農業大学の予定
(防府市牟礼318)

《問い合わせ先》

(公財)やまぐち農林振興公社

TEL：083-902-6696 <http://www.y-agreen.or.jp>

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容などが変更になる場合があります。最新情報は、(公財)やまぐち農林振興公社にお問い合わせください。



福岡 Fukuoka



省エネや再エネ関連も掲載！ 「福岡県環境関連企業技術ガイドブック」

福岡県には、廃棄物、水、大気などの環境問題を、住民や企業と一体となって克服してきた長年の実績とノウハウが蓄積されている。県では、この強みを生かして、友好提携都市を中心としたアジア諸地域と、環境分野における技術協力や人材交流などを進めてきた。

このような県の取り組みを通じて、県内に蓄積された環境技術にアジア諸地域から高い関心が寄せられていることから、県ではこの度、国内外に県内企業の環境技術を紹介する「福岡県環境関連企業技術ガイドブック」を作成した。

県内に拠点を構え、海外への事業展開を考えている企業各社が有する優れた環境技術を「廃棄物」「水質」「大気」「エネルギー」等の分野別に紹介し、特に世界的な脱炭素化への流れを踏まえ、省エネルギーや再生可能エネルギーに関する技術を多数掲載している。

日本語のほか、英語、中国語、タイ語、ベトナム語版を作成しており、県のホームページから各言語版を閲覧・ダウンロード可能。

ぜひ幅広くご活用いただきたい。

《問い合わせ先》

福岡県環境政策課 TEL：092-643-3352

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-tech-guide.html>



ガイドブック表紙



佐賀 Saga



われらの誇り「サガン鳥栖」に 温かい支援を！

観る人の心を揺さぶり、数々のドラマを生み出してきたプロサッカークラブ「サガン鳥栖」。J1リーグ10年目を迎えた今シーズンは若い力が躍動し、選手の熱いプレーは県民に感動と勇気を与えている。子どもたちにとっては、サッカー教室や学校訪問などで選手たちを身近に感じ、その存在は夢や希望、憧れにもつながっている。今やみんなにとって欠かせない存在だ。

その地域の宝であるサガン鳥栖が今、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大きな危機に直面している。興行収入・広告収入の大幅な減少により、第17期(2020年)は約7億円の赤字となり、債務超過に陥った。このままでは存続すら危ぶまれるほど非常に深刻な状況だ。

このクラブを決して失くしてはならないという強い思いから、今年1月、県内経済団体などからなる支援団体「サガン鳥栖AID(エイド)」が設立。現在、「サガン鳥栖AID緊急支援プロジェクト～みんなの想いを『PRIDE of 17』に～」の寄附受付が行われている。寄附金は、主にチーム活動経費として、チーム力強化やユース育成などの取り組みに充当される。

寄附は、専用ホームページ「佐賀未来創造基金」から申し込むことができる。希望

のパスを未来へつなぐため、みんなの力でサガン鳥栖を支援していこう。

《問い合わせ先》

サガン鳥栖AID事務局(佐賀県商工会議所連合会内)

TEL：0952-24-5155

[サガン鳥栖AID](#)

検索



長崎 Nagasaki



高校生の離島留学制度

長崎県では「高校生の離島留学制度」を5校の県立高校で実施している。「しま」が持つ豊かな教育資源を提供し、教育活動の一層の活性化と地域活力の向上を図っており、県内外から目的意識を持った生徒が集う、特色ある学校づくりを行っている。

全国から生徒を募集しており、各地での説明会やオンラインでの説明会を実施している。

○対馬高等学校「国際文化交流科」

韓国の言葉や歴史・文化について専門的に学び、国際社会に貢献できる人材を育てる。

○壱岐高等学校「東アジア歴史・中国語コース」

大陸との交流の歴史や考古学、中国語や中国文化を専門的に学び、国際的に活躍できる人材を育てる。

○五島高等学校「スポーツコース」

陸上、柔道、剣道の技能を伸ばして競技者として活躍し、スポーツ全般に携わる人材を育てる。

○五島南高等学校「夢トライコース」

農業や漁業体験、地域の行事など、のびのびと活動できる環境で、社会性や生きる力を育てる。

○奈留高等学校

「E-アイランド・スクール」

少人数ならではの手厚い指導で、世界に通用する英語のコミュニケーション力を持つ人材を育てる。

《問い合わせ先》

長崎県高校教育課 TEL：095-894-3354



奈留高校のシンガポールでの研修の様子(2020年2月)



地域の魅力が満載。また、「夏目友人帳」に登場する妖怪たちも随所に登場し、ファンの方にも楽しんでいただける内容となっている。

動画の制作に当たっては、本県出身である原作者の緑川ゆき先生をはじめ、「夏目友人帳」製作委員会、㈱白泉社様、㈱朱夏様など関係者の全面的な協力をいただいた。

動画を通して人吉球磨地域に関心を持ってもらい、今後の誘客や交流促進につなげたい。

《問い合わせ先》

熊本県観光交流政策課

TEL：096-333-2754



動画の一場面
©緑川ゆき・白泉社/
「夏目友人帳」製作委員会

夏目友人帳 熊本県 検索

大分 Oita



第19回大分県ビジネスプラン グランプリ開催！

大分県では、県内産業の活性化とベンチャー企業の創出を図るために「第19回大分県ビジネスプラングランプリ」を開催する。

本グランプリは、独創的なアイデアを生かして新しい商品やサービスの研究開発を行い、大分県での事業化を目指すビジネスプランを募集するもの。

メインとなる「グランプリ枠」では、事業化に必要な設備投資や販売促進経費などに幅広く活用できる補助金を交付するほか、各種施策の活用支援や専門家の派遣などを通じて事業推進をフォローアップする。

また、創業間もない方々や学生などの新たな挑戦を応援するため、申請書の記載項目をより簡素化した「チャレンジ枠」も設けている。受賞者には試作等に利用できる補助金の交付に加えて、経営支援機関が次年度以降のグランプリ枠挑戦や今後の成長を支援しており、昨年度は現役高校生が初めてベストチャレンジ賞を受賞した。

応募期限は8月17日(火)まで。さまざまな地域課題を解決し、将来の大分県経済を担っていく画期的なアイデアが多く生まれることを期待している。

《問い合わせ先》

大分県経営創造・金融課

TEL：097-506-3232

(公財)大分県産業創造機構

経営支援課

TEL：097-537-9111



熊本 Kumamoto



アニメ「夏目友人帳」×熊本県 PR動画を公開中！

昨年7月の豪雨災害から1年が経過した。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、全国からの御支援・御協力に感謝申し上げます。

県では、被害の大きかった人吉球磨地域の復興を後押しするため、人吉球磨地域がモデル地となっているアニメ「夏目友人帳」と、自治体としては全国初となるコラボ動画「夏目友人帳～人吉・球磨での優しい時間～」を制作。熊本県観光連盟の特設サイト等で公開。

動画では、主人公の夏目貴志とニャンコ先生が人吉球磨地域の美しい景観や観光名所を巡る。球磨川をはじめ、緑豊かな自然やどこか懐かしい風景など、当該

宮崎 Miyazaki



スギ素材(丸太)生産量 30年連続日本一

宮崎県の2020年のスギ素材(丸太)生産量は173万9千立方メートルと全国の約15%を占めており、1991年から30年連続で日本一を達成した。この30年という長きにわたり全国トップを維持できていることは、森林資源の充実や全国トップクラスの生産基盤はもとより、次世代への森林(もり)づくりに取り組んできた先人たちの努力のたまものである。

さて、県では、今年3月に「第八次宮崎県森林・林業長期計画」を策定したところであり、多様な森林(もり)づくりとイノベーションを通じて、「持続可能なみやざきの森林・林業・木材産業の確立」に向けたさまざまな取り組みを進めている。

そのひとつとして、森林・林業関係では、2019年4月にスタートした森林経営管理制度を推進するため、「みやざき森林経営管理支援センター」を今年4月に開所し、当制度の中心的役割を担う市町村に対し、これまで以上にきめ細かな相談対応や技術指導などの支援を開始した。

また、産業関係では、宮崎市内の映画館が、内装・外装にふんだんに県産杉を活用した全国でも珍しい木造・木質の映画館にリニューアルされるなど、住宅以外での活用が進む中で、今年3月には「宮崎県木材利用促進条例」の公布・施行により、さらに積極的な利用促進にも取り組んでいる。

今後、ICTなどの最先端技術の導入によるイノベーションなどを通じて、林業担い手確保および適切な森林管理を進め、併せて木材の需要拡大を図ることで、スギ素材生産量日本一を継続するとともに、次世代に豊かな森林を引き継いでいきたい。

《問い合わせ先》

宮崎県山村・木材振興課
TEL : 0985-26-7155



鹿児島 Kagoshima



真夏の祭典 音楽のチカラ!!

鹿児島県では、「志があっても財政的理由等で留学できない音楽生等のために、国内外から優れた講師を招いて実技指導と演奏会を開き、同時に人的交流を深める」ことを目的に、1980年、自然豊かな温泉観光地・霧島高原で霧島国際音楽祭をスタートした。日本で最も歴史のある音楽祭のひとつである霧島国際音楽祭は、今年で42回目を迎え、国内外で活躍する著名演奏家が霧島に集い、マスタークラスの受講生も交えて2週間にわたって音楽の祭典を繰り広げる。期間は7月15日から8月1日までで、コンサートは、みやまコンセール(霧島国際音楽ホール)や宝山ホール(鹿児島県文化センター)、川商ホール(鹿児島市民文化ホール)、霧島市民会館等で開催する。

音楽監督はチェリストの堤剛氏で、鈴木優人氏(指

揮)、カルテット・アマービレ(ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位入賞)が出演するなど、多彩なラインナップでお贈りする。開演時刻や入場料は公演により異なるため、詳しくは霧島国際音楽祭公式サイトをご覧ください。

会場では感染症対策を十分に講じているので、霧島の地に響き渡る音楽、そして、鹿児島・霧島の風土を安心して堪能していただきたい。

霧島国際音楽祭公式ホームページ

<http://www.kirishima-imf.jp/>

《問い合わせ先》

みやまコンセール

TEL : 0995-78-8000



沖縄 Okinawa



沖縄空手をユネスコ無形文化遺産へ ~沖縄が世界に誇る伝統文化の特徴と魅力~

沖縄空手とは

沖縄空手は、沖縄で培われた伝統的な技法を残す武術で、護身や心身の鍛錬を目的としている。沖縄の歴史・風土に育まれた礼節を重んじ平和を尊ぶ精神性を特徴とし、地域行事やお祭りで演武が披露され、また学校教育にも取り入れられるなど、人々の生活に密着・浸透し大切に継承されてきた。

沖縄空手は、町道場における子弟関係や「型」を中心とする徹底した自己鍛錬により、他者への思いやりの心を育み、年齢や性別、障害の有無、さらには、人種、国籍、言語、宗教、思想信条等の垣根なく誰でも学ぶことができることから、持続可能な社会の構築に貢献している。

また、大会やセミナー等を通じて、県外や海外を含めたさまざまなレベルのコミュニティ間の交流促進やネットワーク形成に寄与している。

沖縄で誕生した空手は、現在、世界で1億3千万人もの愛好家がいるといわれ、オリンピック種目に採用されるなど、その精神は世界へ羽ばたいている。

ユネスコ登録によって期待される効果

沖縄県では、玉城デニー知事を会長として幅広い分野の関係機関・団体で構成する協議会を設置し、沖縄空手のユネスコ登録に取り組んでいる。

沖縄空手の登録は、沖縄が世界に誇る伝統文化の価値を県民が再認識する契機となるとともに、国内外における認知度の向上につながるから、その将来にわたる保存・継承と普及・啓発に寄与するのみならず、空手を通じた交流の拡大により、地域社会の発展や世界の平和文化の創造に貢献するものである。

《問い合わせ先》

沖縄県空手振興課 TEL : 098-866-2232



九州で最も標高が高いキャンプ場～四季見原すこやかの森キャンプ場～ (宮崎県)

天孫降臨伝説の残る地、高千穂町。古事記・日本書紀に記された天岩戸神話や夜神楽で有名な高千穂神楽など「神話のふるさと」として全国に知られるこの町の北部に、四季見原の稜線を浮かばせる親父山おやじやまがあります。「親父」とは熊のこと。かつては、熊が生息していたことからその名がついたそうですが、今ではツツジやレンゲが随所に見られる花の山となっており、遊歩道の先にある竜ヶ岩の滝など豊かな自然がそこに住む動物たちの恵みとなっているのを感じさせます。

親父山を登った標高1,200メートルの場所にある「四季見原すこやかの森キャンプ場」。阿蘇山をはじめ、九州山脈の山並みが一望でき、九州では珍しいカラマツ林で周囲を囲まれています。

夏でもとても涼しく、澄んだ空が近くに感じられるため、夜空に輝く満点の星は壮観です。また、昼と夜の寒暖差が大きい早春や晩秋の朝には、雲海から昇る朝日を見ることもできます。

キャンプ場内には、5棟のバンガローや炊事場、温水シャワー・シンク付きのオートキャンプ場も完備されており、子どもたちが遊べるローラスライダーなど遊び場も充実しています。

ぜひ皆さんも、かつて神々も眺めたであろう荘厳な景色と清らかな空気の中でキャンプを楽しんでみませんか。



《問い合わせ先》

高千穂町企画観光課 TEL : 0982-73-1212

スケジュール (7月)

日(曜)	会合名等
6日(火)	産業振興・デジタル推進委員会産業振興部会 先進工場見学会(福岡県宮若市・トヨタ自動車九州(株) 行財政委員会第1回企画部会(福岡市・九経連) ※Web併催
9日(金)	交通委員会第1回企画部会(福岡市・九経連)
12日(月)	九州デジタル経営塾・福岡キックオフセミナー(福岡市・電気ビルみらいホール) ※Web併催
15日(木)	第1回K.P.C.ウェビナー～ベトナム進出日系企業のリアル～(Web開催)
21日(水)	九州航空宇宙開発推進協議会2021年度定時総会(福岡市・九経連) ※Web併催

新入会員企業 (5月)

株式会社 i D

福岡本社事業部長 中村 勝一 福岡市博多区博多駅前1丁目7-22 TEL : 050-3066-3507 従業員数 : 86名
事業内容 : 先端的なネットワーク技術の研究開発、およびIoT機器等のソフトウェア開発

株式会社 L is B

代表取締役社長 横井 太輔 東京都千代田区岩本町3丁目11-11 TEL : 03-5812-4735
九州支社長 竹田 真史 福岡市中央区高砂1丁目1-29 TEL : 092-791-8790 従業員数 : 52名
事業内容 : クラウドサービスの開発・提供および運営サポート、スマートフォン・タブレット・パソコンのアプリケーション開発等

ゼネリックソリューション株式会社

代表取締役社長 小西 亮介 東京都渋谷区南平台町1-9 TEL : 03-6416-9015 従業員数 : 40名
事業内容 : 情報検索と機械学習に関するソフトウェア製品の販売と分散コンピューティングサービス提供。また、データモデル設計/データ分析に関する、アナリティクス業務

※6月号に掲載しました4月の新入会員企業ご紹介の一部を以下のとおり修正し、改めてご紹介いたします。

一般社団法人ジャパンベトナムロータスクラブ

会長 小林 緑 福岡市早良区西新7丁目3-4 TEL : 092-821-9593 職員数 : 3名
事業内容 : 日本人勉学生およびベトナム人勉学生、ベトナム人実習生の教育支援、友好活動

◆九経連ホームページ <https://www.kyukeiren.or.jp>

◆九経連メールアドレス info@kyukeiren.or.jp 月報・ホームページをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。